

平成19年8月1日
(2007)
第75号
毎月発行
編集
公民館だより編集室
発行
西東京市公民館

西東京市 公民館だより

田無公民館 南町5-6-11 TEL 461-1170
保谷公民館 柳沢1-15-1 TEL 464-8211
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 TEL 461-9825
住吉公民館 住吉町6-1-25 TEL 421-1125
谷戸公民館 谷戸町1-17-2 TEL 421-3855
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 TEL 424-3011



ランタンリルンをバックに「ヒマラヤの出会い」

●さあ、 アジア大会へ

関西空港に集合した時からエスベ

ランタンリルンをバックに「ヒマラヤの出会い」

世界共通語として知られるエスペラント語。菊池さんは谷戸公民館で開かれたエスペラント入門講座の受講生の一人です。講座終了後も仲間と学習を続け、エスペラント語を使ってネパールを訪れました。そこで様々な国の人々と出会い、かつてない貴重な体験をします。エスペラント語として世界へ羽ばたいた菊池さんに原稿を寄せていただきました。

エスベラントについては世界共通語として作られたというこ

らです。私は旅行や山登りが好きでネパールには以前から興味をもっていたので、「これはもうアジア大会に参加するしかない！」という訳だったのです。それに、言葉の違う国の人々がお互いに理解し合うために、どちらかの国の言葉を一方の人だけが苦労して覚えるというのではなく、どこの国の言葉でもない一つの言葉をそれぞれが覚えてお互いに歩み寄るといってエスベラントの精神はとも

エスペラントで世界へ 公民館での学びを契機に 菊池範子

ラントがほんぽん飛び交っているのには本当にびっくりでした。カトマンドウの空港に到着するとネパールのエスペラントイストたちが素晴らしい笑顔で出迎えてくれて、「あちこちで「Saluton!」という挨拶がかわされました。これは朝昼、夜いつでも、そして上下関係や公私の別などに関係なく広範囲に使える便利な挨拶で、いわばエスペラントイストの言葉のようものです。

開催されると決まった時に、エスペラントを覚えれば一つの言葉でいろいろな国の人と話ができると勧められて学び始めたそうです。始めたのは私と同じ頃だと思いますが、もうすでにペララの人もいました。ネパールの未来をこの若者たちが築いていくのだと思うと、観光やトレッキングをするために訪れるというだけではなく、それ以上に親しい気持ちを持って思い描く国になってきました。

●エスペラントの輪

エスベラントには毎年夏に世界大会、3年ごとにアジア大会国内でも日本大会をはじめとしてたくさん大会があります。そして私にとって大変うれしいことにはヒマラヤレンコンティエーショ(ヒマラヤの出会い)というネパールでのトレッキングを中心とした国際交流の催しが1年おきにあるのです。さらに外国のエスベラントイストの家に宿泊させてもらえるパスポートセルボという制度もあります。

私のエスベラントは、二歩進んでは一歩さがるといったところですが、辞書と首つ引きで写真や手紙のやり取りをしてさまざまな国際交流をしています。

また今年の2月末からの念願のヒマラヤレンコンティエーショでは、アジア大会で出会ったネパールや日本人たちとうれしい再会をしました。世界大会の開催は今年は横浜、来年はアムステルダム、アジア大会は来年インドです。新しい出会いと再会が楽しみです。そしていずればパスポートセルボも利用してみたいと思っています。

サークル訪問 西東京にほんご教室 (Nishitokyo Nihongo Class)

住吉公民館は、毎週土曜の午後、国際色豊かな雰囲気にも包まれ、国境を越えたさまざまな年代の人々の笑顔が集います。平成5年、旧保谷市との共催事業「日本語を話そう」が起源です。外国の方々の日本語を学びたいという要望に応じる形で平成7年に市民ボランティア組織「保谷にほんご教室」がスタートしました。日本語学習を希望する西東京市在住の外国人支援が主目的で、合併に伴い平成13年に「西東京にほんご教室(Nishitokyo Nihongo Class)」と名を改め、現在にいたっています。



お花見会

発足当時を振り返りながら熱心にお話してくださいましたのは、スタート時よりこの会を支え続けてきた中平さんと山辺さんです。昨年は述べ380人の外国の方がこの場を訪れたといえます。現在は日本語学習支援を志す14人のボランティアスタッフに支えられて活動を続けています。ここに集う外国の方々には、日本語を学ぶと同時に、日本の文化や生活習慣に触れることを望んでいて、料理教室、お花見、茶道や着付けの会、スピーチ大会などのイベントも行ってきます。

12年あまりの間、年末年始と祝祭日以外はいつも教室は開いていて「毎週土曜日午後、住吉公民館に来れば仲間に出会える」という学習者の安心感にもつながっています。親子三代で参加した方や母国に帰り再び訪れる方もいました。時には日本での待ち合わせの場になるなど、「西東京にほんご教室」は、日本語を学習する場であると同時に、国と国、人と人とを結びつける暖かい国際交流の場として存在し続けてきました。

自らが架け橋となることを喜びとしているスタッフの皆さん、そして学習者の皆さんは、まるで大家族のようです。

あなたもファミリーの一員になりませんか？現在、学習者・スタッフともに募集中です。

代表 中平 422-6619